



さあ、漕ぎ出そう 奏でよう

年間聖句「わたしは道であり、真理であり、命である。」ヨハネ14章6節

0歳児	1・2歳児	3歳以上
見つける	どれにしようかな	感謝しつつ
興味、探求心が深まり、活動的になる	生活の中でやりたいことにじっくり取り組み、関わり合う	友だちと遊ぶ中で思うようにならないことや自分とは違う思いがあることを経験する
たくさんの自然物に触れ、喜ぶ	賛美や祈りを通して神さまを身近に感じて喜ぶ	秋のみのりや身の回りの生活に神さまの守りがあることを知り、ありがたいの気持ちが芽生える

選挙が終わり、石破政権の厳しい船出となりました。今後の政治の行方に期待したいところです。

みなさん、政治に関心をもっておられますか？もちろんですよ。私たちの生活や仕事、何よりも将来に直結してきます。日本はいまだかつてなかったような少子化、人口減少というおおきな課題があり、日本存続の危機とさえ言われるほどです。

逆に東南アジアの開発途上国は人口の平均年齢が31歳といわれる程、若者が多く活気に満ち溢れています。イコール国の力強さに繋がっているようです。

このような中で育っていく子どもたちです。そしてその育ちの過程はとてとても重要になります。

ですから、保育のあり方も（学校教育も）ここ数年で大きく変わってきました。

全員一緒、皆同じがいい・・・として私が子どもの頃の教育は集団を乱さない、整列、多数派で押さえつけられてきました。

今は違います。ひとり一人の個性、多様性を見出し、他とちがっていい、自分の得意をきちんと知り自尊心を高く持つ、そして自己主張（自分の意見を持ち、発信）できる、その中で協力が必要な時は協力し合い、多様な意見の中でも決まったことには惜しまずに協力、協働できるような懐の広い、視野の広い人を育てようとしています。それが世界の人たちと共に仕事をしていく人として求められているのです。

こひつじでもそのために保育の方法をあれこれ探り、環境をあれこれ整え、職員同士であれこれ意見交換し合い、子ども達の育ちにとってより良い保育をしたいと日々模索しています。

園からのお便り、週報などの発信でそれが保護者の皆さまに伝わっていたら幸いです。



11月1日でこひつじ保育園は47年目の歩みへ入ります。子ども達にとって居心地の良い、そして十分に自己発揮できる、そのことを保障していける園として今後もたゆみなく努力していきたいと思ひます。

保護者の皆さまのご理解とご協力をいつも感謝いたします。

犬童れい子